

お口くちにポイっと。モグモグ・・・？」

花ちゃん 「あれ？変へんだわ。おかしいわ。どうして？」

モンタ博士「だから言いっただろう。今日きょうのおもしろ植物実験教室しよくぶつじっけんきょうしつはナツメの葉だって・・・。」

花ちゃん 「どうして、どうしてなの。モンタ博士はかせ。」

モンタ博士「難むずかしいけど、受容体じゆうたいとか、リセプターとかいうものがあるんだ。例えば『痛いたい』と感かんじる前まえに、先さきまわりをしてフタをする。つまりブロックするのさ。」

オー君 「なるほど。そうか。分わかったぞ。ナツメの葉はっぱの場合ばあいは、チョコレートが甘あまいと感かんじる前まえに、甘あまいと感かんじる物ものにフタをしてしまうということですね。」

モンタ博士「そのとおりさ。だから、チョコレートを食たべてもちっともあまくないんだ。

ドロップをなめても、石ころいしみたいだし、砂糖さとうをなめても、砂すなみたいだよ。

これは、サプライズじっけんな実験じっけんでおもしろいよ。校長室前こうちやうしつまえにナツメの葉はを洗あらって

おくから、ほしい人はおうちに持ち帰もって実じっけん験かえするといひよ。ナツメは

漢方薬かんぽうやくなどにもするから大丈夫だいじやうぶだけど、何なんでもかんでも口くちに入れてはダメだ

よ。食たべなくても、くしゃくしゃするだけでも効果こうかあるしおもしろいよ。」



ナツメ

あら不思議おもしろ植物実験教室・・・ナツメの巻

ナツメの葉をよくかんでみると、少し苦い感じがするが、これは、葉の成分の中に甘さをブロックするサポニン系のジュジュボサイドというものがあるからである。甘さを全く感じなくなるからとても不思議である。これは、舌の表面の甘さを感じる細胞のリセプターをブロック（フタを）してしまうから。ナツメは、果実を乾燥させたり、お菓子の材料としても食用されたりしている。また、古くから生薬としても用いられている。原産地は中国から西アジアで、日本への渡来は奈良時代以前であるそうだ。